

メゾン・エ・オブジェ 2010年9月展(9/3→7)の特長

2010年9月展は、メゾン・エ・オブジェが転機を迎える記念すべきセッションです。それは次の三大理由によります。

- 36 000 m²の新ホールのオープン
- 付加価値が高いハイエンドのコレクションを揃えた新スペースの創設。ホール7に、インテリアシーン、メゾン・エ・オブジェ・プロジェ、ナウ！我々の生活空間を彩るデザイン。ホール8にメゾン・エ・オブジェ・アウトドア__インドア。メゾン・エ・オブジェ会場の正面入り口付近の新ホール7およびホール8の一角のこの新スペースになります。
- ムーブブル・パリがいよいよメゾン・エ・オブジェ9月展のパリノール見本市会場に合流します。家具からインテリアデコレーションまですべてが完璧に揃う相乗効果にご期待ください。

新ホールの誕生

36 000m²の新ホールの建設によるパリノール見本市会場の拡大は、パリ市の見本市・展示会・会議の発展戦略に結びつくこととなります。現代的で、同見本市会場の新しい象徴とも言える新ホールは、従前のホール6とホール7（新ホール誕生により地理的観点から見直しホール8と名称が変わります）の間に位置しております。建築家フィリップ・シュ(Philippe CHAIX)の手になるHQE(ハイクオリティで環境にマッチ)コンセプトの新ホールは、メゾン・エ・オブジェが今まで実現したくても叶わなかった、ハイエンドでクリエイティブな出展コレクションを一か所に集めて提案することを可能にしてくれます。

ハイエンドコレクションの魅惑

2010年9月展におけるフランスの「アール・ド・ヴィーブル（生活の術）」の提案の充実度は、メゾン・エ・オブジェ創設以来初めてと言って良いほどです。新しいホール7一杯にインテリアシーン、メゾン・エ・オブジェ・プロジェ、ナウ！我々の生活空間を彩るデザインが最新コレクションを展開、ダイレクトに繋がる隣のホール8でのメゾン・エ・オブジェ・アウトドア__インドアとともに、最高のクリエイションが結集したホームファッションの新しいシーンをお見せします。

インテリアシーン：インテリアにおける国際的に有名なブランドが揃う見本市

ホームファッション界で最も有名なクリエイター達が才能を發揮し、他では見られない独特の世界を創出、国際的なビッグネーム、卓越した品質を保証するブランド表示のもと、最高峰に行くインテリアの豪華絢爛な提案。パオラ・ナヴォンヌの手になる会場作り。建築家でありデザイナーであるパオラがセノグラフィアを手掛けます。彼女は、南の影響と西の感性とが入り混合した知識を具象化するマルチタレントに恵まれたイタリア人クリエイターです。（ホール7）

ナウ！我々の生活空間を彩るデザイン：インテリアデザインの国際見本市

あらゆるデザインの粋がこのナウ！に。トレンドの先端に行くイノベーションとクリエイションの根幹を誰よりも早く発見なさってください。インテリアデコレーションと家具の最新デザイン息吹あふれるコレクションの数々が皆様をお待ちしております。（ホール7）

メゾン・エ・オブジェ・プロジェ：ハイエンドのプレスクリプション向けのソリューション展

メーカー、ディストリビューター、プレスクリプターとの出会いの場。開発計画から関連素材、リノベーションに至るまでを揃えた“メゾン・エ・オブジェ・プロジェ”は最先端に行くアイテムを発見していただける特別スペースです。インテリア建築プロジェクトに必要なあらゆるソリューションのノウハウを提供します。（ホール7）

メゾン・エ・オブジェ・アウトドア__インドア：アウトドア__インドアにおける「アール・ド・ヴィーヴル」は1年に1回ご覧ください。

メゾン・エ・オブジェ・アウトドア__インドアは新しい特別プロジェクト(バー、ラウンジ、トレンド的なレストラン、ゴージャスなスパ、最高級ホテル等)を担当するプレスクリプターにとって必須のビジネス・ランデブーの場であるだけでなく、アウトドアであれインドアであれあらゆる店舗設計を請け負う関係者にとっても必見です。社員の福利厚生観点から大企業はアウトドアの施設充実の傾向が顕著になっている現在、メゾン・エ・オブジェ・アウトドア__インドアでは、新たに、テクノロジーとデザインそして和やかさが一体となり、外観の美しさを実現する技術を併せ備えたハイエンドの家具およびアウトドア関連アイテムを提案いたします。今、市場が伸びているこのセクターの要求に応えるべく、常に洗練されたコンセプトでクリエイティブなブース作りを心掛ける数多くのデザイナー達の参加を得て、それぞれ自慢の最新のクリエイションの世界をお見せします。

ムーブル・パリ：“パリは、クリエイションの中心地”キャンペーンにムーブルも参加

夏のヴァカンス明けの一大イベント：それは、家具見本市であるムーブル・パリが、メゾン・エ・オブジェが開催されているパリノール見本市会場に合流することです。360°のヴィジョンでホームファッションを語る上ではごく自然な歩み寄りと申せましょう。このような新戦略は下記のようなさまざまな市場のニーズに応えたものです：

- 春に打ち出されるプロタイプが、実際に製品化されて流通に乗せられるのが秋という家具業界のサイクルに合わせ、最良のタイミングとして9月展の時期が選ばれました。
- コントラクトやプレスクリプション業界への新しいアプローチへの試み。
- ムーブブル・パリとメゾン・エ・オブジェの、各出展者、各来場者との間で起きる相乗効果に期待。両見本市のそれぞれの関係者に、新しいトータルとしての市場を披露すれば、国際市場での新規ビジネスのチャンスも広がる。
- 祝賀イベント：本年2010年は、パリに家具見本市が誕生後50周年という記念すべき年になります。

-メゾン・エ・オブジェとの相乗作用を期待できるムーブル・パリのセミナー開催(5プログラム)：パリにおける家具見本市50年の歴史、イノベーション、市場、ホテル業界とのかかわり、社会的見地からみたトレンド分析等。

-ムーブル・パリのセノグラフィール：ジャン・フィリップ・ヌエル(Jean-Philippe Nue)。デザインおよびコンテンポラリーなクリエイションに情熱をそそぐ建築家一家の出身。パリのボーザールで建築士の免許を取得後、丹下健三率いる(当時)国際コンペで優勝して以来、急速に名を上げパリのホテルに関する建築とインテリアデコレーションのすべてを任せられ実現したことで有名。この最初の作品以降、パリおよび地方のブティック・ホテルのプロジェクトを数多く手掛けました：ル・ヴィクトワール・オペラ、ヴィラ・サンジェルマン、ホテル・テレーズ、ル・ジェネラル、ル・デュオ、ル・レジャン・ブティット・フランス(ストラスブール)、ル・ジヴァ・ヒル・パーク・ホテル(ジュネーブ付近)、ル・グラン・バルコン(トゥールーズ)、ラヴェニュー・ロジュー(フランス・イーゼル県).....

以上のような実績を積み、以降ますます著名なホテルチェーンからのオファーも増えて行きました：ソフィテル(ブタペストおよびパリでファンズセンター)、ヒルトン(エビアン、マルタ島)ル・クラブ・メディネラネ(ベイジール・ヴァランドリ)他、現在進行中のプロジェクトとして、ル・メリディアン(パリ・エトワール、ブリュッセル、ドバイ)ラディソン(ナント)、ウエスティン(ヨルダン・アカバ県)、さらにターゲットホテル(インド)、マリオット(マラケシュ)そしてイル・デュ・ボナン社の豪華クルーズ船2艘のプロジェクトも待っています。(ホール5B&5C)

発表されるリッチなコレクション、イベントのご紹介

メゾン・エ・オブジェ：ホームファッションの見本市

全く自由な発想から生まれた特別な場所、ホームファッションの最新トレンドの発信源たるメゾン・エ・オブジェは、あらゆる種類のインスピレーションと、新しい「アール・ド・ヴィーブル(生活の術)」をベースにクリエイトされた最新コレクションをご覧ください。都会風と国際的な横断性は、独占的でハイエンドなホームファッションの明日の市場へのアプローチを可能にします。

エスニック・シックMIC(ホール1)

洗練されたエキゾチズムとの出会い

テクニックとスタイルの混合、洗練されたエキゾチズムと先祖代々のノウハウがこの「エスニック・シックMIC」の会場を行き交います。

テキスタイル(ホール2)

トレンドの流れの中に

インテリアファブリクスがファッションの世界に合流し、洗練されたインテリアデコレーションの世界へ最後のタッチを加えます。

テーブルウエア(ホール3)

活気あふれるホール3

テーブルウエアは先祖代々続けられてきている決まり事を進化させ、現代風に応えようという気運を伴います。フランス人は料理を称賛し自宅に人を招くことが好き。その場合、部屋作りには特に気を使いインテリアのあらゆるトレンドを取り入れようとします。この「テーブルウエア」の中心部にご注目ください。「テーブルウエア」セクターの「アール・ド・ヴィーブル(生活の術)」におけるグルマンディーズ(食道楽)を象徴するプレゼンテーションと味の歴史をぜひご覧ください。

レスパス(ホール4)

クラフト

従来の「レスパス」(ホール4)と名付けられていましたが、今回展より名称が変わります。出展コレクションの特殊性により新名称は「クラフト」となります。ハンドメイドのノウハウによって生まれる本物シリーズのコレクションを提案。クリエイター、アルチザン、アーティスト達が一点もの、限定生産もの等自慢のコレクションを披露します。

コテ・デコ(ホール4&5A)

コテ・デコは下記の4つの世界に分けて展示されます：

- « レフェランス » スタイルとアトモスフェールなエスプリのインテリア向け(ホール4)
- « アクチュエル » アーバニズムの流れの中心部分にマッチ(ホール5A)
- « シャルム » 田舎の別荘や家族との住まい向け(ホール5A)
- « アンスピラシオン・ジャルダン » 家の中にエクステリアを取り込む傾向はまだ主流(ホール5A)

ホームアクセサリ(ホール5A&6)

インテリアには欠かせない小物たち。ムード作りのクリエイター...インテリアデコレーションの補足アイテム..“癒し”に役立つもの、コンテンポラリーギフト、祭用小物、エスニックもの、ファッション、クラシック調・都会調アクセサリ、子供の世界....と思わず“一目ぼれ”してしまうあらゆるアイテムが所狭しと揃います。

コティディアン：コンテンポラリーなインテリアデコレーションを補足するアイテムの数々(ホール6)

クラシック&コ：クラシックで非世俗的なアイテム。「確かな価値」を披露します。(ホール6)

オブジェ・ド・モード：とても女性的、詩的、エスニック、グラマーな世界。クリエイティブなホームファッションの新鮮な泡立ちが感じられます。(ホール5A/6)

ユニバーサル・ド・ランファン(子供の世界)：子供服から子供部屋のインテリア製品まで。家具はもちろんのこと、玩具まで揃う生き生きとした世界です。(ホール6)

ムービング：クリエイティブでコンテンポラリースタイルから少々はみ出たオリジナル性豊かなアイテム(ホール6)

オブジェ・デュ・モンド：世界各地の文化を想起させるようなアルチザナルで伝統的なアイテム(ホール6)

メゾン・エ・オブジェ・ミュゼ：文化の香りのするオブジェとのランデブーの場

文化的ギフトおよびコミュニケーションツールとしてのオブジェ市場にターゲットを絞りました。ミュゼ（博物館・美術館）内のブティック関係者は特に必見。ホームファッションの見本市、メゾン・エ・オブジェの中心部に設置されます。（ホール 6 の中 2 階）

メゾン・エ・オブジェ 2010 年 9 月展の主要イベント:

インテリアシーン

(ホール 7)

• エスパス「ハイメ・アヨン」：インテリアシーン 2010 年度のクリエイター

スペイン人デザイナー、ハイメ・アヨンはインテリアシーンのクリエイター。絶えず新しいアイデアとイメージを駆使して過去の常識を覆し、決まり事も無視し、流行の最先端に行く、彼のユニークな作品であふれるアートギャラリーでの展示会と、本来の家具との間に大きなギャップを作りだして楽しんでいます。

IED-ヨーロッパ・デザインラボ（マドリード）で工業デザインを修得後、パリ装飾美術学校（当時、フィリップ・スタルクが教鞭をとっていた）に籍を置く。その後、ファブリカ・ア・トレヴィゾ（ベネトン社のコミュニケーションリサーチセンター）に入社、3 ヶ月後にデザインセクションのディレクターに抜擢。

何にでも好奇心を禁じ得ない彼は、あまり疑問を呈さずに次から次へと新しいプロジェクトを手掛けます。また、より彼の個性が出る製作も続けています。例えば、彼の初のロンドンでのショー「地中海のデジタル・バロック」（なんと鳥に囲まれたセラミックのサボテン!）

ハイメ・アヨンの作品例: 彼のショータイム (Showtime) コレクションのために製作されたモジュラータイプの食器棚。驚くべき家具(長さ 6m)です。アールデコ調、ルイ 15 世調、モダニズム等すべてのスタイルが入り混じった足付家具にブルーを塗ったものです。ハイメ・アヨンはクリエイティブで遊びの入った手法でデザインの歴史を語ろうとしています。

• タラン・ア・ラ・カルト

インテリアシーンの中心部に設置される「タラン・ア・ラ・カルト」には、メゾン・エ・オブジェ主催者が 9 月展に招くロシアの新進クリエイター 6 名の作品が勢ぞろい。これから世に出る豊かな才能の持ち主たちの作品をお楽しみください。

• モスクワの「メゾン・エ・オブジェ」が披露するフランス式アール・ド・ヴィーヴル（生活の術）

2010 年度フランス-ロシア年実行委員会のバックアップにより、UBIFRANCE とメゾン・エ・オブジェが主催する「メゾン・エ・オブジェによるフランス式アール・ド・ヴィーヴル（生活の術）」展が、モスクワのマネージュ広場近くにあるゴージャスなホールで行われます。ロシアの首都中心部で、フランス式アール・ド・ヴィーヴル に捧げられるこの見本市は、トレンドやクリエイションに情熱を燃やす外国人バイヤーや一般人にフランス式生活様式の価値を知らしめる絶好の機会になると確信。2010 年 10 月 6 日から 9 日、この新しい見本市はフランス式アール・ド・ヴィーヴルの優れた PR 大使として相応しい出展者（150 社）が選ばれております。詳細な資料は、パリの 9 月展の際、インテリアシーンの入り口で配布を行ないます。

メゾン・エ・オブジェ・プロジェクト

ホール 7

• ラ・マテリオテック

メゾン・エ・オブジェ・プロジェクトがこの「ラ・マテリオテック」を迎えるのは 3 回目となります。マテリオ(matériO)はイノベーション豊かな素材とテクノロジーを管理する欧州のネットワークです。2001 年にパリで誕生、会員企業に対してクリエイション製作過程に必要な素材や半製品に関する情報を幅広く提供するサービスを実施しています。このようにマテリオは、クリエイター、建築家、デザイナー、セノグラフィ、アーティスト等と生産者、技術者、研究者側とを結びつける役割を果たしております。

ムーブル・パリ MEUBLE PARIS

ホール 5B & 5C

ムーブル・パリの会場は下記の主要 4 セクターに分かれております。

ロフト(LOFT) : コンテンポラリーなクリエイションの粋を集めたセクター

リビング(LIVING) : モダンなエスプリのコレクション

アトモスフェール(ATMOSPHERE) : チャーミングで伝統的なタイプのコレクション

ソフト(SOFT) : “癒し”を感じさせる落ち着いた空間向けコレクション

以上の他に、ムーブル・パリの会場では、多数のリッチなコレクションを堪能いただけます。2010 年は、パリに家具見本市が生まれて以来、50 周年を迎えることとなります。これを記念して、フランス家具産業ユニオン (UNIFA) および VIA が、回顧展を催します。さらに、メゾン・エ・オブジェに合流したことによる相乗効果を期待して、5 大テーマを主体としたセミナーを開催します：パリに家具見本市が生まれて 50 年、イノベーション、市場、ホテル産業、社会学を基礎にしたトレンド....また、専門学校のいくつかもプレゼンテーションを行います。

2010年/2011年のSAFI主催見本市の開催日程:

メゾン・エ・オブジェ、インテリアシーン、ナウ！我々の生活空間を彩るデザイン、メゾン・エ・オブジェ・エディトール、メゾン・エ・オブジェ・プロジェ、メゾン・エ・オブジェ・ミュゼ：2011年1月21日→25日 パリノール見本市会場

メゾン・エ・オブジェ、インテリアシーン、ナウ！我々の生活空間を彩るデザイン、メゾン・エ・オブジェ・プロジェ、メゾン・エ・オブジェ・アウトドア__インドア、ムーブル・パリ：2010年9月9日→13日 パリノール見本市会場

メゾン・エ・オブジェ2010年9月展の概要

メゾン・エ・オブジェ、インテリアシーン、ナウ！我々の生活空間を彩るデザイン、メゾン・エ・オブジェ・アウトドア__インドア、メゾン・エ・オブジェ・プロジェ、メゾン・エ・オブジェ・ミュゼ、ムーブル・パリ
入場は業界関係者に限ります

開催期間：

2010年9月3日（金）→7日（火）

開催時間：

9時30分→19時（最終日は18時閉館）

開催場所：

パリノール見本市会場

ホール1, 2, 3, 4, 5A, 5B, 5C, 6, 7, 8A & 8B

セクター/ 小見本市：

Hall 1. エスニックシックMIC

Hall 2. テキスタイル

Hall 3. テーブルウエア

Hall 4. クラフト

Halls 4 & 5A. コテ・デコ

Halls 5A & 6. ホームアクセサリー

Hall 6. 中2階. メゾン・エ・オブジェ・ミュゼ

Hall 5B. ムーブル・パリ

Hall 5C. ムーブル・パリ

Halls 7 インテリアシーン

Hall 7 ナウ！

Hall 7 メゾン・エ・オブジェ・プロジェ

Hall 8：メゾン・エ・オブジェアウトドア__インドア

主催者：

SAFI, (フランス、アトリエダール組合とリードエクスポジション・フランスの共同出資による運営機関)

Tel. +33 (0)1 44 29 02 00 - Fax : +33 (0)1 44 29 02 01

email : info@safisalons.fr

日本でのお問い合わせ先：

メゾン・エ・オブジェ日本オフィス

〒107-0062東京都港区南青山5-4-6

パレロワイヤル南青山403 (榊デアイ内)

TEL(03)3409-9495

FAX(03)3409-9684

E-mail : m-ojapon@deai-co.com